

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	ステップアップ講座「WEB アプリ はなもく散歩」の紹介		
開催日時	2022年6月16日(木) 19時15分～20時50分		
開催場所	ZOOMによるオンライン講座	FIC参加者	22名

活動概要



「はなもく散歩」のWEBアプリを考案、制作をした中田真也子さんに講師をお願いした。北総部会では2021年6月に茨城県つくば市にある国立科学博物館筑波実験植物園で、「はなもく散歩」を使った現地研修を経験している。しかし、一年前の体験アプリと比べて、内容的も技術的にも、使い勝手も数段進化しており、中田さんをはじめ、NPO 法人リトカルの皆さんの熱意と精力的な創作意欲には度々感心させられる。

前はスマートフォンで指定された木の説明を聞き、クイズの解答や写真を投稿することでポイントをあらしうゲーム的要素を取り入れ、大人も子供も楽しめるような工夫がされていたが、今回はさらに充実した生き物図鑑(アプリ)に進化し、特に「緑地の魅力発信」に力点が置かれて制作されている。2021



年12月には、国土交通省国土地理院主催の「GEO アクティビティコンテスト」で奨励賞を受賞している。2021年現在、関東近県の6カ所で採用されており、2022年度は新たに2カ所の採用が決定している。アプリには、四季折々の「おすすめコース紹介機能」が7月から、英語表示に切り替える機能が来年度前半から追加される予定である。例えば、「泉自然公園(千葉県)」では、公園の木の紹介だけでなく、生き物に関する説明、イラストマップに「おすすめルート」を埋め込むことが現地の公園管理者の考えで自由にできるようになっている。さらにスポット機能を使い、巨木や野草園の紹介もある。今後はオリエンタルコンサルタント社と協力してスポットやイベント情報をより充実する方針が熱く語られた。また川口市の郷土資料館主催で市内の寺やアート、木をめぐる「まちなかラリー」も秋に予定されている。最後に「はなもく散歩は緑地を描き出す絵の具でその緑地を知り、その素晴らしさを伝えたいと思う方々が使うことで、初めてその真価を発揮する」という言葉で締めくくった。後半はこれだけの機能を維持・拡充させるためにFICとしてどのように協力していくか。団体として支援するには何が必要か。現地の指定管理者との関係はどうなるのか。決定権は現地の管理団体にあるので、FIC が協力することは容易ではない。大草谷津田、松戸市21世紀の森と広場、船橋県民の森、清和県民の森など FIC との関係が深い場所を一つ選んで、実際に取り組んでからFICの中に専門部会を立ち上げるか、総会や各種会合などで議論を重ねて前向きに検討していく課題になるのではないかなど、様々な意見が交わされた貴重なオンライン講座となった。常に進化が止まらないWEBアプリ「はなもく散歩」の今後に期待し見守りたい。

FIC講師
中田 真也子